

令和5年度進行管理・評価シート
太宰府市 歴史的風致維持向上計画 第2期(令和5年3月29日認定)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 法定協議会及び支援連携体制について	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
2 歴史的風致維持向上地区計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物保存修理事業	4
2 歴史的建造物調査事業	5
3 大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業	6
4 特別史跡水城跡保存修理整備事業	7
5 特別史跡大野城跡環境整備事業	8
6 歴史の散歩道環境整備事業	9
7 朱雀大路修景整備事業	10
8 歴史的市街地の修景推進事業	11
9 歴史的市街地の緑化推進事業	12
10 四王寺山周辺環境整備事業	13
11 大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業	14
12 四王寺山の環境保存活用事業	15
13 門前町並み保存活用事業	16
14 太宰府市民遺産育成支援事業	17
15 太宰府発見塾事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の防災	19
2 文化財の保存・活用	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 新聞・テレビ	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 集客数等に見る効果	22
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
法定協議会及び支援連携体制について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	太宰府市歴史的風致維持向上協議会を中心として、計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。本計画の事務局を都市計画課並びに文化財課が担い、事業担当課や文化財の所有者・管理者との連絡調整を行う。また、必要に応じて、太宰府市景観・市民遺産審議会などに対し計画の実施状況を報告し意見を求める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、法定協議会である歴史的風致維持向上協議会を1回開催した。第1回は令和6年3月27日に開催した。今回の会議では、今年度実施した事業の進捗評価を行った。さらに次年度に実施する予定の歴史的風致維持向上計画の事業について報告し、意見をいただいた。 また、太宰府市景観・市民遺産審議会を2回(9/27、2/21)開催し、景観重要建造物の指定、だざいふ景観賞等について審議した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来年度からは事業計画に基づいて事業を行っていくため、事業内容を十分に審議し実施していきたいと考えている。		
状況を示す写真や資料等			



第1回歴史的風致維持向上協議会(3/27)

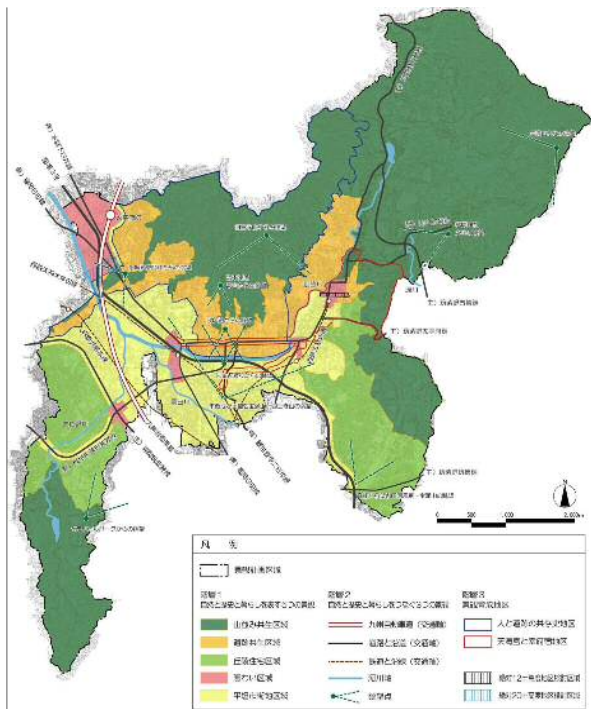


第1回太宰府市景観・市民遺産審議会(9/27)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

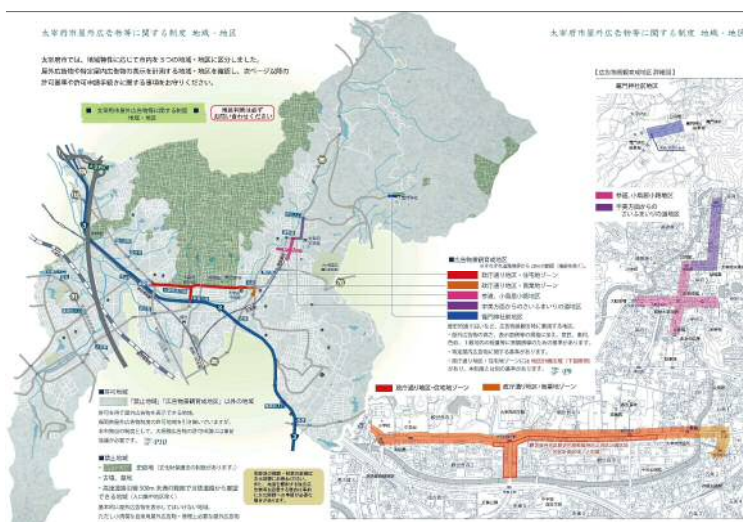
項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
景観計画の活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	市域全体を景観計画区域とし、その中を自然、歴史、暮らしの視点で5つの区域に区分している。さらに「人と遺跡の共存史」と「天満宮と幸府宿」の2地区を景観育成地区に設定し、歴史的風致維持向上計画の重点区域を含めている。建築行為時には周辺景観やまち並みへの配慮、伝統的な家並みや山並みに調和した色彩とするなどの景観育成基準を定めている。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
景観法及び太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例に基づく行為届出は、景観育成地区については建築確認申請を要する行為、育成地区外は一定規模の建築行為を対象と定めている。令和5年度の届出件数は69件であった。また、景観に対する普及啓発活動として、景観ウォークを2回、景観パネル展を2回5ヶ所で行った。 屋外広告物については、条例に基づいた申請が令和5年度は122件であった。			
進捗状況※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	景観の届出が行われず、工事が実施されている物件がわずかに存在する。確認検査機関をはじめ地道な啓発活動が必要である。また、屋外広告物については、未申請や既存不適格な物件があり、期限を設けた措置を検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



景観計画届出件数

年度	件数	年度	件数
H23	59	R5	69
H24	79	R6	
H25	91	R4	
H26	53	R5	
H27	62	R6	
H28	63	R7	
H29	53	R8	
H30	67	R9	
R1	72	R10	
R2	66	R11	
R3	64	R12	
R4	81	R13	
		R14	

←景観計画総括図



屋外広告物申請件数

年度	件数	年度	件数
H29	86	R7	
H30	52	R8	
R1	51	R9	
R2	90	R10	
R3	133	R11	
R4	117	R12	
R5	122	R13	
R6		R14	

←屋外広告物景観育成地区図

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上地区計画の活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	特別史跡大宰府跡や史跡大宰府学校院跡ならびに史跡観世音寺及び子院跡の南面に接する県道筑紫野-太宰府線沿線において、150㎡以内の店舗建築を可能とする歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的景観に配慮した店舗誘導を図っている。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			

平成28年7月より施行しているが、令和5年度も新たな専用店舗の認定は0件であった。

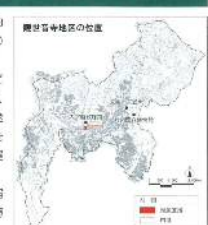
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	地区計画の立地が、天満宮参詣の帰路に位置していることや参道から約1.2kmの距離にあることなどから、観光客の集客が望める適地とはいえない。北側に広がる史跡地の魅力向上を図りながら、長期的な視点で観察し対応していく必要がある。
状況を示す写真や資料等	

《 観世音寺地区歴まち地区計画の概要 》

太宰府市では、新しい地区計画として『観世音寺地区歴史的景観維持向上地区計画』（通称：観世音寺地区歴まち地区計画）を定めました。

本まち地区計画は、大宰府政庁跡や観世音寺、戒壇院などの文化遺産を活かして、観世音寺地区の回遊性を高めるため、歩行者の利便性となるような専用店舗の立地を可能とする用途規制型の地区計画です。用途の規制とともに、歴史的な風情を高めつつ、周辺の住宅と調和を図っていくよう、建築物や屋外広告物の形態等についてもルールを定めています。

対象区域内で建築物の建築等を行う場合、あらかじめ市に届出を行い、建築物等の状況が地区計画に適合しているかの確認が必要となります。



観世音寺地区歴まち地区計画の目標

【地区計画の目標】

- 良好な居住環境の保全
- 古町太宰府を象徴する文化遺産を活かした歴史・観光地の形成

【まちなみ形成のイメージ】



【問い合わせ先】 太宰府市 建設経済部 都市計画課 都市計画係
 〒818-0198 福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
 Tel: 092-921-2121 Fax: 092-921-1601

【建築物の用途の制限の緩和】

施行前



兼用住宅で、店舗面積が50㎡以内かつ延べ面積の1/2以内の店舗のみ立地可能でした。

施行後



暖簾店、うどん・そば店を主とする延べ面積150㎡以内の専用店舗も立地可能になりました。

【屋外広告物の形態意匠の制限】

施行前

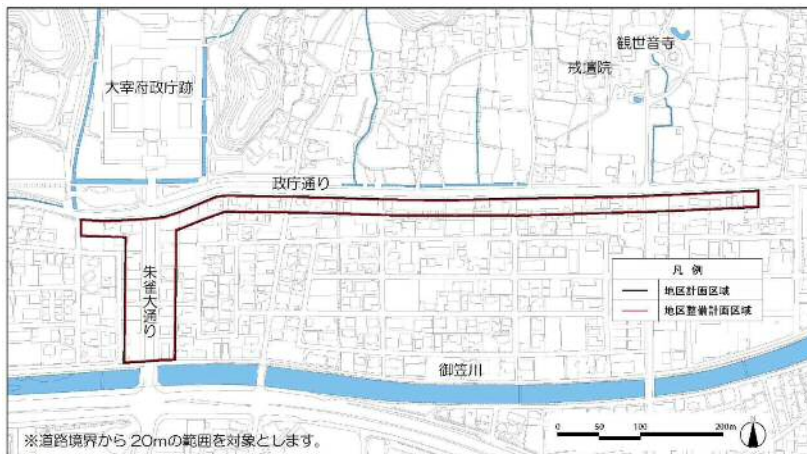


大きく派手な広告物も設置可能。観世音寺地区の広告物景観に合った大きさやデザインのルールがありませんでした。

施行後



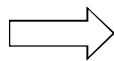
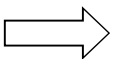
現状の広告物景観を守り、店舗が立地しても派手な広告物が立地しないようルールを定めました。



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	太宰府天満宮門前の歴史的な家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理等に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内にある歴史的風致形成建造物候補から保存修理に合わせ順次指定を行い、毎年2件の保存修理を実施する計画としている。 令和5年度は太宰府天満宮参道沿いに所在する歴史的風致形成建造物3件(小野家店舗、松尾家店舗、甘木屋)の保存修理を実施した。令和4年度から繰り越していた光明寺本堂については、令和5年度末までに補助対象事業分について完了した。			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		個人所有の建造物については、所有者の意向に左右されるため、予算措置が計画的にできないことがある。所有者には事業の周知を進めると共に、早期の相談・協議を進めることを説明していく。	
状況を示す写真や資料等			

小野家店舗
外観小野家店舗
(屋根修理後)松尾家店舗
(修理前)松尾家店舗
(修理後)甘木屋
(修理前)甘木屋
(修理後)光明寺本堂
(修理前)光明寺本堂
(修理後)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的建造物調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物を計画的に調査することでその価値を明確にする。また、痕跡や関係資料の調査を行い、市内にある歴史的建造物の特性を把握することで、保存修理において旧状に復する際の必要な情報収集を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
太宰府天満宮参道に位置する小野家店舗(大正10年建築)と高木家店舗(昭和前期建築?)の2件について、文化財的な建造物調査を実施した。参道で数少なくなってきた明治・大正期の建築物の調査ができたことで、今後の利活用や周辺の修理修景等の参考となるデータを記録することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査が必要と考えられる歴史的建造物の所有者に対し、早期に協議を進め計画的に調査が実施できるよう努める。		
状況を示す写真や資料等			



小野家店舗調査



高木家店舗調査

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡とは、市内に所在する8つの史跡で、そのうち保存活用計画が策定されていない特別史跡大野城跡・水城跡、史跡観世音寺境内及び子院跡・筑前国分寺跡・国分瓦窯跡・大宰府学校院跡の保存活用するための計画を策定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
特別史跡大宰府跡整備基本計画を令和4年度から令和6年度で作成するため、保存活用計画については策定できていない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	今後は、市内に所在する8史跡のうち、未策定の6史跡の保存活用計画を計画的に策定する必要があり、他市町に跨る史跡もあるため、関係市町及び福岡県と連携を十分に図り、事業を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R5年度の事業なし			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
特別史跡水城跡保存修理整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成19年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	風雨による長年の損傷個所の修理、修復を行う。また遺跡に影響を与える樹木などの間伐といった計画的な緑の維持管理を実施する。併せて広場、サイン、便所、四阿、園路などの環境整備を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
水城跡（約10ha）について、樹木の繁茂、豪雨による法面崩壊等の自然的要因、また、人の通行による踏圧によって、土塁など遺跡そのものの劣化が進行している。このため、現状より悪化させることのないよう遺構の修理を実施し、また、環境整備を行うことで、史跡にふれる機会の充実を図る。令和5年度は、便益施設水城館が開館して7年目にあたる。来館者数は初年度から令和元年度までは12,000人を超える多くの方に継続的に好評を得た。その後はコロナ禍の影響が顕著となり、令和2年度は6,433人、令和3年度は5,874人。令和4年度は9,984人と入館者数は少し回復傾向にあったが、令和5年度は8,357人となっている。令和5年度事業は水城跡東土塁中央部の樹木整理等工事（伐採31本、剪定16本）を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	樹木整理は土塁をき損する恐れがある大木・高木を中心に剪定・伐採を行った。特別史跡水城跡は隣接する大野城市との連携を十分に図り整備を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 事業実施前 ➡  事業実施後  事業実施前 ➡  事業実施後			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
特別史跡大野城跡環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成20年度～令和14年度		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備		
計画に記載している内容	平成20年(2008)度から実施している土塁の環境整備について、今後は増長天西側土塁修理および環境整備、増長天礎石群の環境整備を実施し、順次、土塁、石塁、礎石群の環境整備を実施する。また、追加指定された原山地区の解説広場などの環境整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
福岡県文化財保護課では、平成20年度から増長天地区の整備に着手しており、令和5年度は礎石建物脇の法面保護工事をはじめ、内周土塁周辺の樹木整理や、踏圧により挟れている山道・園路の補修や基盤舗装の施工した。とくに、法面保護工事は近年顕著となっている猪による獣害対策にも応じたもので、令和4年度に引き続き、獣害防止用のネットが付いている芝製品を用いて施工した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	事業主体の福岡県や、県が設置している大宰府史跡調査研究指導委員会整備部会などとも連携し、史跡の適切な保存と効果的な活用を図るため、整備を進めていく。		

状況を示す写真や資料等



芝張り実施後



園路補修後

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

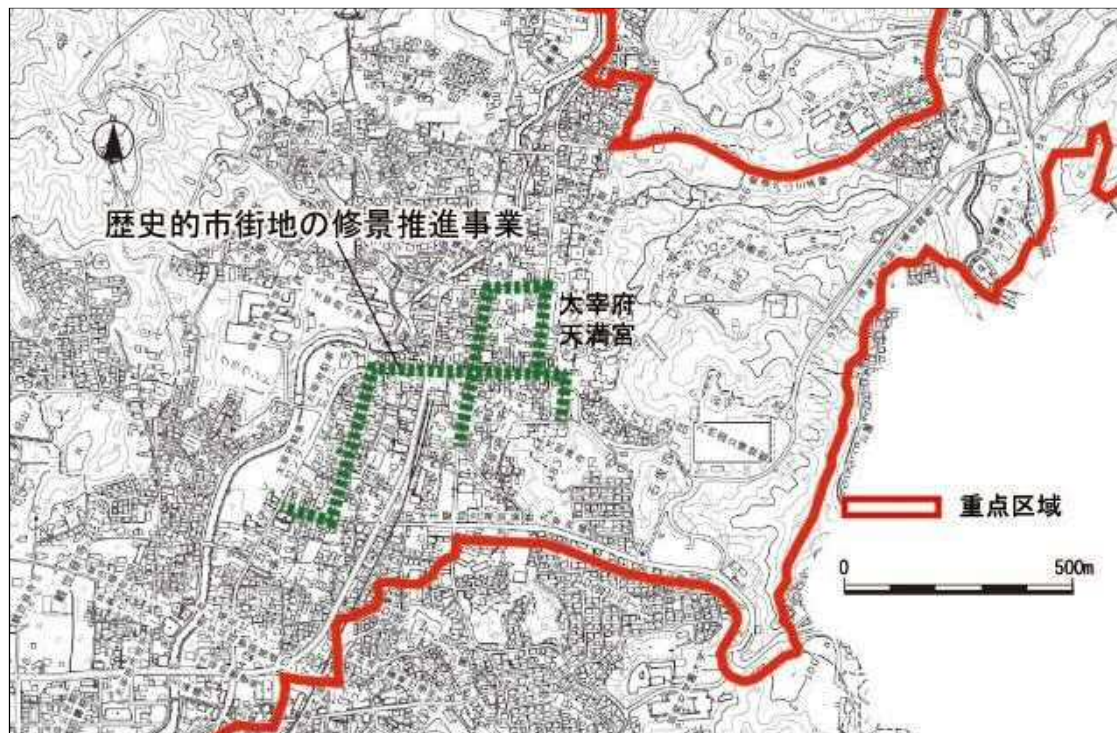
		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史の散歩道環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史の散歩道は、太宰府天満宮から水城跡までに点在する「さいふまいり」の名所を、歴史的風致を感じながら散策できる道路で、劣化した道路の改修や安全性に配慮した散策路の拡幅、そして附帯する防護柵・カーブミラーなどを景観に配慮したものに更新する。また、散策環境向上のため水辺環境や休憩施設などの整備を検討する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	現在まで散歩道の付帯施設の修景を実施してきたが、散歩道の全体的な整備方針が定まっていないため、部分的な事業に留まっており計画的な事業ができていない。そこで文化財課や建設課など関係機関と協議し、整備方針を明確にした上で、安全で良好な散策環境の整備を目指す。		
状況を示す写真や資料等			
 歴史の散歩道（青色破線）			
R5年度の事業なし			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項																																					
評価対象年度																																					
令和5年度																																					
項目	現在の状況																																				
朱雀大路修景整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手																																				
事業期間	令和5年度～令和6年度																																				
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)																																				
計画に記載している内容	県事業として整備が進められている県道観世音寺二日市線の道路について、整備事業と連動し、神幸式の経路のどんかん道である古代の朱雀大路を顕在化する。また、さいふまいの名所「幸橋」の顕在化も図る。																																				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																					
令和5年度は管轄的那珂県土整備事務所と協議を重ねながら、実施設計を行った。																																					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																				
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	令和6年度には適切に実行できるよう、事前協議を早急に完了し、事業を実施していく。																																				
状況を示す写真や資料等																																					
<table><tr><td>工事年度</td><td>令和5年度</td><td>工事種別</td><td>道路</td></tr><tr><td>工事名称</td><td colspan="3">朱雀大路修景整備事業</td></tr><tr><td>所在地</td><td colspan="3">観世音寺二日市線 沿道</td></tr><tr><td>工事種別</td><td>大規模</td><td>小規模</td><td>その他</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="3">平面図</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>1:500</td><td>図例</td><td>1/4</td></tr><tr><td>作成者</td><td colspan="3">大牟田市 都市整備部 都市計画課</td></tr><tr><td>チェック</td><td>和</td><td>矢</td><td>山</td></tr><tr><td>承認</td><td>和</td><td>矢</td><td>山</td></tr></table>		工事年度	令和5年度	工事種別	道路	工事名称	朱雀大路修景整備事業			所在地	観世音寺二日市線 沿道			工事種別	大規模	小規模	その他	図面名称	平面図			縮尺	1:500	図例	1/4	作成者	大牟田市 都市整備部 都市計画課			チェック	和	矢	山	承認	和	矢	山
工事年度	令和5年度	工事種別	道路																																		
工事名称	朱雀大路修景整備事業																																				
所在地	観世音寺二日市線 沿道																																				
工事種別	大規模	小規模	その他																																		
図面名称	平面図																																				
縮尺	1:500	図例	1/4																																		
作成者	大牟田市 都市整備部 都市計画課																																				
チェック	和	矢	山																																		
承認	和	矢	山																																		
事業平面図																																					

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的市街地の修景推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致やまち並みを阻害している建築物等の修景や除却を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、対象路線沿いの所有者から修景実施に関する相談は1件あったものの事業実施には至らず、事業実施件数は0件であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	修景補助対象路線沿いの所有者について、計画的かつ効果的な事業が実施できるよう、事業の周知を計画的に行っていきたい。		
状況を示す写真や資料等			



対象路線図

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度	
項目	現在の状況
歴史的市街地の緑化推進事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	歴史的風致を損ねている沿道環境などの緑化修景を行う。
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
令和5年度の事業実施件数は1件であった。実施内容は、約3mの範囲に4本の植栽を計画され、そのうち1本について、補助対象のおすすめ樹種であるイロハモミジを植樹した。	
進捗状況※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	緑化補助対象路線沿いの所有者について、計画的かつ効果的な事業が実施できるよう、事業の周知を計画的に行っていきたい。
状況を示す写真や資料等	

歴史的市街地緑化推進事業補助対象範囲

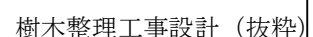


対象路線図



令和5年度実施状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

改修工事設計（抜粋）

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度		評価対象年度
現在の状況		項目
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手		大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業
事業期間 令和5年度～令和14年度		
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡や史跡宝満山に、来訪者を誘導する案内板や誘導板を設置する。また、既設の老朽化した誘導板や解説板をユニバーサルデザイン化した解説板に更新する。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
解説板の事業予定24件、誘導板の事業予定15件のうち、解説板4件を新規に設置した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	未設置の解説板・誘導板、老朽化した解説板・誘導板があるため、史跡整備計画や保存活用計画に基づき、設置、改修を実施していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



軍団印出土地



大宰府条坊跡・客館跡



般若寺跡

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
四王寺山の環境保存活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	四王寺山の自然環境の維持向上に資する民間活動の育成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度に策定した「四王寺山(市民の森)環境整備計画」の中で、課題として記載している市民の森内で発生する伐採木の活用についての検討を進めるべく、意見聴取の場として実際に伐採木を使用した木工教室(全3回)を、まほろば自然学校に委託した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伐採木の活用については、補助金の要件で収益を得られない等の制約があるため、学校への教材としての提供や園内整備の資材としての活用を検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
門前町並み保存活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	まち並み環境の維持及び向上に資する活動の検討および民間活動団体の育成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会」は、歴史的まちなみを維持形成するための地区のルールづくりや、建築物の修景基準の検討などを行うための協議会として立ち上げ活動を始めている。令和4年度からホームページが完成し公開している。令和4～5年度にかけては、2期計画実施にあたり、課題抽出のための協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	太宰府天満宮門前町のまちづくりで課題であった内容については、歴まち1期計画で十分目的は達成できた。2期計画実施にあたり、課題について検討を行ったが、特筆すべき課題は抽出できず、協議会として独自に活性化の取り組みを検討している。		
状況を示す写真や資料等			

第1回総会
(6月6日)第2回総会
(2月20日)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
太宰府市民遺産育成支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	太宰府市民遺産普及のための活動支援、解説リーフレット等の作成や映像記録を行うほか、ホームページによる情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観・市民遺産会議全体会議を3回開催したことに加え、普及イベント「市民遺産フェスタ2024」を実施し、パネルディスカッション等を通じ市民へ市民遺産への関心を高める機会を作った。市内のイベントにパネル展示をおこなった他、絵画コンテストを実施し、85点の応募があった。応募作品は地元大学主催のイベントでTシャツアートして活用されるなど、大学と連携した取り組みも実施できた。これらについては、市民遺産ポータルサイト(HP)で適時、情報発信を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市民の市民遺産に対する認知度をさらに向上させ、文化財を守り育てることが豊かな生活につながるという意識を醸成させる必要がある。地元学校との連携をさらに進めたい。		

状況を示す写真や資料等



だざいふ景観・市民遺産フェスタ2024



太宰府市民遺産子ども絵画コンテスト



太宰府市民政庁まつり



子ども絵画コンテスト作品のTシャツアート



市民遺産会議役員会



市民遺産クイズラリー (だざいふ物語 11/11)

評価軸③-15

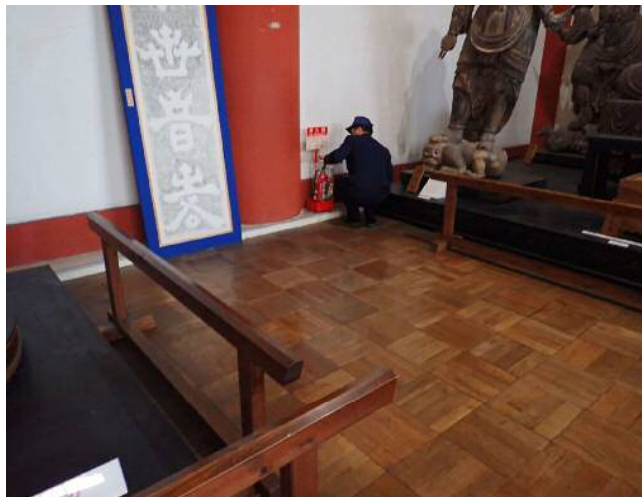
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
太宰府発見塾事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成17年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	市民ボランティアを募集し、過去に行った文化遺産調査の追跡調査を実施する。あわせて地域の歴史文化の講座や文化遺産の活動団体による講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和6年度より事業を再開予定である。文化遺産の初期の調査事業から20年近い時間が経過していることから、過去に調査した文化遺産の現状把握が必要である。また、文化遺産調査の未実施地域もあることから、調査を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R5年度は事業なし			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	防災・防犯など文化財を取り巻くリスクを把握し、予防策を計画的に取り組む。また、文化財の管理施設については予防査察を実施したり、消火設備の設置を推進していく。また、防災意識向上を図るため、消防訓練や防災・防犯の対策の大切さを伝える広報・普及活動に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーの期間中に、市内の文化財保管施設を中心として、防火意識の再確認ならびに防火意識の向上を図ることを目的として、消防本部、消防署と連携し消防査察及び消防演習を実施した。令和6年1月15日～17日に、市内の文化財関係施設8ヶ所の消防査察を実施し、2ヶ所で消防演習を行った。また、文化財防火デーの期間中は市庁舎に懸垂幕を掲示したほか、各施設に立看板とポスターを設置した。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		例年、文化財防火デーに合わせ、市内にある文化財所蔵施設の消防査察を実施し、市内文化財所蔵施設2ヶ所にて、消防演習を実施している。引き続き文化財保存のための機器点検・防災意識向上を図っていく。	
状況を示す写真や資料等			



消防査察（観世音寺）



消防演習（太宰府天満宮）



文化財防火デーパレード（参道）

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	市内に豊富にある文化財とその調査情報を市民に還元するため、史跡整備や展示、ホームページの利用など様々な形での普及啓発や情報発信に取り組み、市民が文化財に親しむ機会の充実に努める。また、伝統文化の担い手の発掘・育成を見据え、文化遺産に関わる人材育成へつながるような取り組みを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
・市指定文化財候補1件について、文化財専門委員会で審議し、市指定文化財に指定した。 ・文化財の普及啓発のための出前授業や講座、イベントを23回実施した。 ・まるごと太宰府歴史展を実施し、普及啓発を進めた。来場者数:1,470名 ・市内関連文化財17件を3Dデータとして公開した。閲覧件数2,200件			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も展覧会や講座を軸に普及啓発を進め、3Dデータの公開件数も増やしていく。	
状況を示す写真や資料等			



まるごと太宰府歴史展の展示状況



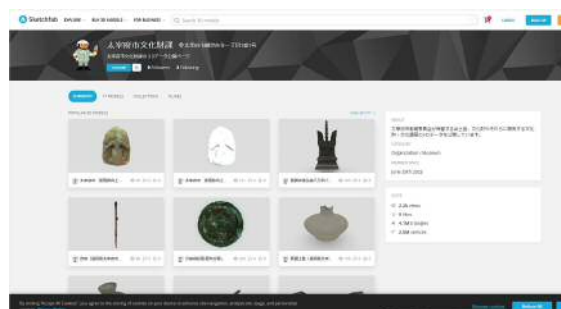
まるごと太宰府歴史展ギャラリートーク



宝満山史跡指定10年記念講座



市指定文化財の新指定「宝満山遺跡群出土金銅仏」

3Dデータ公開サイト
「sketchfab」公開状況

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
拝山の「骨筆」展示		令和5年6月14日	西日本新聞
太宰府の歴史まるごと紹介		令和5年9月27日	毎日新聞
観世音寺宝蔵 国登録文化財に		令和5年11月25日	西日本新聞
埋蔵文化財などを3Dデータで公開		令和5年12月15日	西日本新聞
3Dで文化財の表も裏も知って！太宰府市がウェブサイト公開		令和6年1月11日	NHK福岡放送
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
太宰府の絵師展、まるごと太宰府歴史展を紹介する報道があり、展覧会来館者数増加につながった。観世音寺宝蔵が本市初の国登録文化財となった。3Dデータ公開事業が報道され、県民に本市の取り組みが紹介されアクセス件数が増加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も積極的に情報発信に努める。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1

その他（効果等）

評価対象年度

令和5年度

項目

集客数等による効果

計画に記載
している内
容

歴史的風致維持向上計画の実施により、本市が持ち得ている魅力を向上させ、市民の歴史的風致に対する認識や愛着が深まることが期待でき、市内外の人々に太宰府市固有の情緒や風情を伝えることができる。さらに、来訪者の回遊性を高め、市内の滞在時間を伸ばすと共に、市民に日々の散策地を提供することができ、市民満足度の向上などが期待できる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和4年度に太宰府市を訪れた観光客数は728万人(R5年度は評価時未集計)で、太宰府天満宮から離れた場所に位置する、文化財関連施設の令和5年度の集客数は、文化ふれあい館入館者数18,701人、水城館入館者数8,357人、大宰府政庁前バス駐車場の駐車台数は328台であった。太宰府市を訪れる観光客数がコロナ後回復傾向にあり、それと比例するように、各施設の入館者も回復傾向である。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

太宰府市への観光客は、太宰府天満宮界隈を中心に訪れているが、周辺への回遊性は不十分である。そこで引き続き歴史的風致維持向上計画の事業を進めていくことで、歴史的風致の維持向上を図り、地域の魅力アップによる回遊性の向上につなげていきたいと考えている。

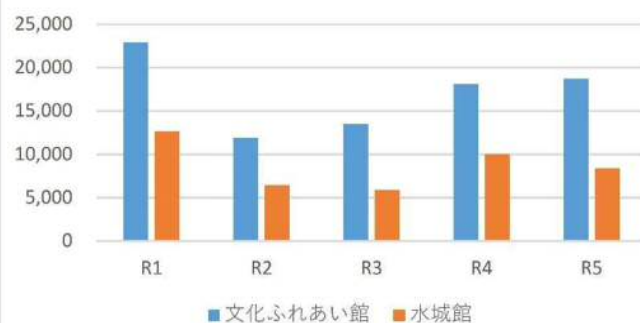
状況を示す写真や資料等

文化ふれあい館・水城館入館者数

単位：人

年度	R1	R2	R3	R4	R5
文化ふれあい館	22,924	11,885	13,501	18,088	18,701
水城館	12,642	6,433	5,874	9,984	8,357

文化ふれあい館・水城館入館者数推移

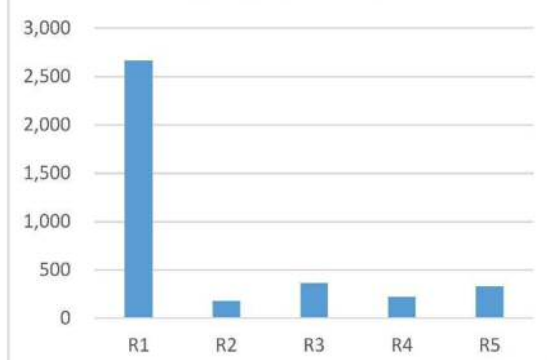


大宰府政庁前バス駐車場利用台数

単位：台

年度	R1	R2	R3	R4	R5
利用台数合計	2,665	180	363	220	328

利用台数合計推移



法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度第1回太宰府市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和6年3月27日(水)	
(コメントの概要) ・朱雀大路修景整備事業について、歩道部分だけ修景しても、一般的な方が全体的な広さをイメージすることは難しいのではないかと。 ・朱雀大路修景整備事業は、大路部分の色変えだけではなく、朱雀大路の境目にプレートなどをはめ込んだり段差を付けるなどした方が、効果があるのではないかと。また、大路部分の色も車道部と歩道部で変える必要があるのか。車道部は一部でも良いので大路と同じ色をつけるとよい。 ・歴史の散歩道環境整備事業について、観世音寺地区に飲食店を増やしていきたい、活性化していきたいと考えているが、実際に地域の方に話を聞くとマナーの面で観光客が活発に動かれると迷惑という話もある。市には、住民の意見も聞いていただき、観光客のマナー改善も含めて事業展開してほしい。 ・大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業について、福岡県として日本遺産のサイン整備にも力を入れてほしい。	
	
令和5年度第1回太宰府市歴史的風致維持向上協議会の様子	
(今後の対応方針) ・景観ウォークや景観パネル展を開催し、景観に対する普及啓発を行っていく。 ・助成事業については、修理修景対象者にパンフレット等を活用し、事業内容の周知を図っていく。	